

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--|
| 事業名 | ～これからの農業を考える～ 新・みらい塾 |
| 事業主体 (連絡先) | 新・みらい塾実行委員会 (松川町大島 2065-1 松川町交流センターみらい内) |
| 事業区分 | (6) 産業振興、雇用拡大 (ア特色ある観光地づくり) (3) 教育、文化の振興 (1) 地域協働の推進 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 954,179円 (うち支援金: 763,000円) |

事業内容

- ①あの人の仕事論 4回開催 受講者合計 62名
日本各地において自らの正業や事業そして地域と向き合う実践者とのディスカッションを中心とした講座
- ②ワークショップ 3月15日 参加者 10名
講座で学んだことを実行に移していくために、学びの可視化により地域課題の解決、また、自分の経営に活かせるヒントを共有
- ③フィールドワーク代替講座 2月24日 受講者 16名
コロナ禍でのピンチとチャンス、地域活性化活動の講座
- ④講演会 7月21日 参加者 40名 (うち一般 22名)
気候変動に関する知識を得て、今後の農業での生産に活かしていく



【ワークショップ】

【目標・ねらい】

- ①農業者同士が集まる場の創出、交流、情報共有
- ②Iターン新規就農者へのサポート
- ③若手農業者による企画運営

事業効果

- ①④モチベーションとアイデアを高める
クラフトビールで地域活性化している東京大森を、松川のシードルと重ねあわせ、行動に移す機運が見られた
- ②自主性及び行動力
地域課題解決に向け個々の気づきを共有することで、個人だけの活動ではなく、塾生全体の取り組みとして具体的に考えた
- ③農業者同士の交流、情報交換の場
募集範囲を南信州全体に広げたことで、受講生 19名のうち町外から 6名が受講、講座内外での情報交換、交流ができた

※自己評価 【A】

【理由】

- ・ 町内外若手農業者、研修生との交流、情報共有
- ・ 果樹研修生へのサポート
- ・ 塾生同士、講師との繋がり
- ・ 若手農業者の自主的な活動

今後の取り組み

Iターン新規就農者・研修生と先輩農家、講師との繋がりを更に深め、モチベーションを高めることと経営安定を目指していく。さらに町内外の若手農業者が集まる場を創出し、人の繋がりや輪を広げ、地域活性化への行動を具体化していきます。

また、次年度よりコーディネーター委託を無くし、若手農業者が自ら考えた企画で新・みらい塾を運営していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある